

菊池川流域の各地には雨乞いの風習が伝わっており、その一つが玉名市の大野下雨乞い奴踊りです。踊り手は江戸時代の参勤交代時の奴の恰好をしています。なぜ、そのような恰好をするのでしょうか？

関文書「天保三年御内意之覚」によると、雨乞いの際に華美なものを用いているという噂があるため役人が村々に確認に行くと、三味線や太鼓、笛に合わせて踊る村や揃いの衣装を着て踊る村、規則を破って絹地の着物を着ていたり、村印を付けた絹地ののぼりを用いている村があることが分かり、その状況を郡奉行へ報告しています。また、村上文書「天保十年見聞之覚」からは、村々では火消しや随兵、薬売り、狐狩り、忠臣蔵夜討ちなどの恰好をしていたことが分かります。まるで仮装行列のようです。大野下の奴の恰好もこのようなもののひとつだったのでしょうか。



大野下雨乞い奴踊り
玉名市岱明町大野下



芋生の迫雨乞い太鼓踊り
山鹿市鹿北町芋生



住吉日吉神社雨乞い太鼓
菊池市泗水町住吉



深掘り！菊池川流域日本遺産エピソード ～伝説と文化をたずねて～

社会教育課
文化係
☎0968(34)3047

市の迫雨乞い太鼓踊りや相良雨乞い踊り・小坂雨乞い踊りが伝わっています。住吉日吉神社雨乞い太鼓の由来は、今からおおよそ500年前、早魃（かんばつ）に苦しむ人々を救おうと住吉日吉神社の神前で軍の太鼓を三日三晩打ち鳴らし、滝の様な雨に恵まれたことから祈願するようになったと伝わっています。

文芸広場

肥後狂句

敬老会 寄れば青春花が咲く 福永すみれ
敬老会 馴染みの顔がめっちゃ減り 高木せいや
敬老会 苦難のり越えみな笑顔 池田 茜
敬老会 歌に踊りに若返る 瀬上 歌子
困ったなア 何しとったかもう忘れ 池上 沢庵
困ったなア 夜の見張りが要る畑 石原かわせみ
赤信号 脳みそ以外異状なし 二瀬 桔梗
赤信号 青い地球がたぎりよる 庄山 道草
赤信号 交通整理ありがとう 井上りんと

かなしき原俳句会

戦没の遺骨なき墓参りけり 明
枕辺にいつの間にやら虫の声 康子
天の川友またひとり星となり 弘子
強かにまだ衰えぬ残暑かな 誠一
菊水俳句会
打水す庭の先はやかわきいる 嶋田 俊一
葛のつる踏みつけて待つ路線バス 池田 松子
赤とんぼ行きつ戻りつ追う子かな 本田美穂子

～和水町公式 Instagram～



和水町の「今」を発信しています！



イベント情報やお知らせを
いち早くチェック！



広報紙に載らない写真も
動画もたくさん！



町Instagram

フォローは
こちらから

かに玉風卵焼き

小学生3～4人分

- カニカマ（ほぐす）…………… 40g
- 木綿豆腐（水切りしてほぐしておく）…………… 100g
- にんじん（千切り）…………… 15g
- たまねぎ（スライス）…………… 25g
- ねぎ（小口切り）…………… 3g
- 卵…………… 2個
- A ● 砂糖…………… 小さじ1
- うすくちしょうゆ…………… 小さじ1と1/2
- みりん…………… 小さじ1
- 油…………… 適量

作り方

- ① ボウルに卵を割り入れて、Aの調味料と混ぜ合わせておく。
- ② ほぐしたカニカマや木綿豆腐、切った野菜をすべて①に入れて混ぜ合わせる。
- ③ フライパンに油をしいて②を入れて弱火～中火でふたをして焼く。
固まってきたらひっくり返して裏面も焼く。
- ④好きな大きさに切り分けてできあがり。

ひとくちコメント

給食では卵の中に具材を入れてオーブンで大きな厚焼き卵を作ります。それを人数分に切り分けているので四角い卵焼きになります。具材がたくさん入るのでボリュームがあり、お弁当などにもおすすめです。



このメニューを紹介！



和水町公民館図書室だより

☎ 中央公民館図書室 ☎0968・86・2022
☎ 三加和公民館図書室 ☎0968・34・3047

開館午前9時～午後10時（年末年始除く） 1回につき1人5冊まで、2週間借りることができます。

季節は秋、秋といえば…スポーツ、行楽、食欲、そして読書！ 夏の暑さで疲れた身体と心を癒すために、気候が穏やかになった秋の夜長に読書がお勧めです。

町の図書室は、様々なジャンルの本を揃えています。小説などの読み物だけでなく、健康づくりに関するものや、料理の本、園芸や手芸などの実用書。また、子ども向けの絵本や紙芝居、大人も子どもも楽しめる漫画などもあります。ぜひ図書室に足を運んで、お気に入りの本を探してください。



「タイム・アフター・タイム」

吉田 修一
（幻冬舎）

主人公は高校時代に初恋を交わした男女。別れの後、それぞれの人生を歩んできた2人が、二十数年の時を経て仕事のプロジェクトで再開。

長崎で過ごした高校時代と、現在の東京を行き来しながら描く恋愛小説。

痛み・後悔・優しさなど純粋な感情を呼び起こす様な感涙の物語です。

著者は、「国宝」や「悪人」「怒り」など話題作[映画化]も多くあります。

紹介した「タイム・アフター・タイム」は日経新聞連載の作品です。

福士加代子

「福士 加代子」

福士 加代子
（いろは出版）

福士さんは、今年の金栗マラソンにゲスランナーとして参加いただきます。オリンピック4大会連続出場、大阪国際女子マラソン2度優勝など輝かしい経歴の持ち主であり、長年にわたり陸上界を活気づけ牽引してきたランナーです。

福士さんがいかに陸上と出会い、「トラックの女王」さらに「レジェンド」と呼ばれるに至ったか？！彼女を支え続けた家族や恩師、後輩ランナーの証言や写真も収録されています。